

⑫ 公開実用新案公報(U) 平2-6011

⑬ Int. Cl.³A 61 B 17/08
17/28

識別記号

3 1 0

庁内整理番号

7242-4C
7242-4C

⑭ 公開 平成2年(1990)1月16日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 考案の名称 生体組織のクリップ装置

⑯ 実 願 昭63-83757

⑰ 出 願 昭63(1988)6月24日

⑱ 考 案 者 井 上 和 宏 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号 オリンパス光学工業株式会社内

⑲ 出 願 人 オリンパス光学工業株式会社 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号

⑳ 実用新案登録請求の範囲

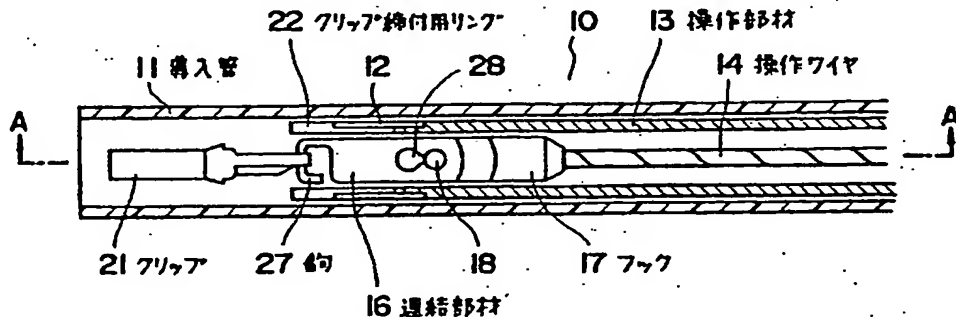
生体腔内に挿入可能な導入管と、この導入管内に進退自在に挿通された操作部材と、この操作部材内に進退自在に挿通され先端にフックを装着した操作ワイヤと、基端部を有しこの基端部より延出する腕部の先端に挾持部を形成して開閉習性を持つクリップと、上記操作部材の先端に着脱自在に装着され上記クリップの腕部に被嵌して装着することによりクリップの挾持部を閉成するクリップ締付用リングと、この締付用リングに挿通可能で上記クリップと係合しかつ上記フックと着脱自在に係合する連結部材とを具備する生体組織のクリップ装置において、上記連結部材のクリップ接続端に変形可能な鉤を設け上記クリップと係合させたことを特徴とする生体組織のクリップ装置。

図面の簡単な説明

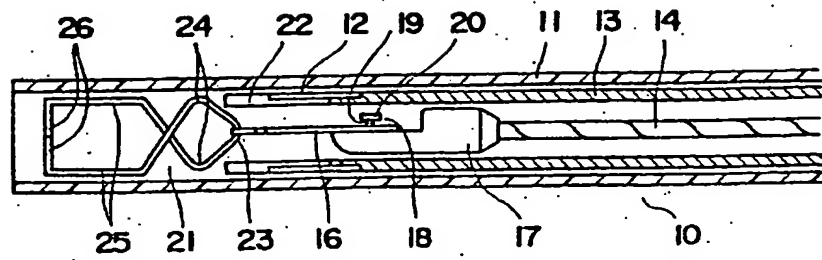
第1図乃至第7図は本考案の第1実施例を示し

ており、第1図はクリップ装置の先端側の断面図、第2図は第1図のA-A'断面図、第3図は連結板をフックに取り付ける時の組立図、第4図はクリップを最大に開いた時の断面図、第5図は連結板の鉤が引き延ばされた時の断面図、第6図は第5図のB-B'断面図、第7図は生体組織を挟んだクリップの状態図、第8図は第2実施例を示すカセット式クリップの断面図、第9図は第3実施例を示すカセット式クリップの断面図、第10図、第11図は従来のクリップ装置を示す図である。

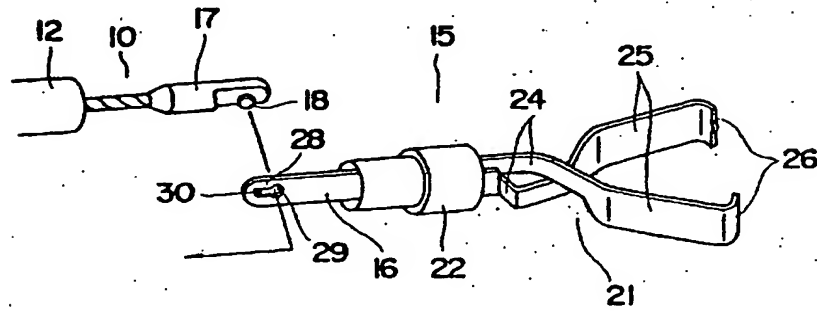
11……導入管、13……操作部材、14……操作ワイヤ、16, 31, 34……連結部材、17……フック、21……クリップ、22……クリップ締付用リング、25……腕部、26……挾持部。



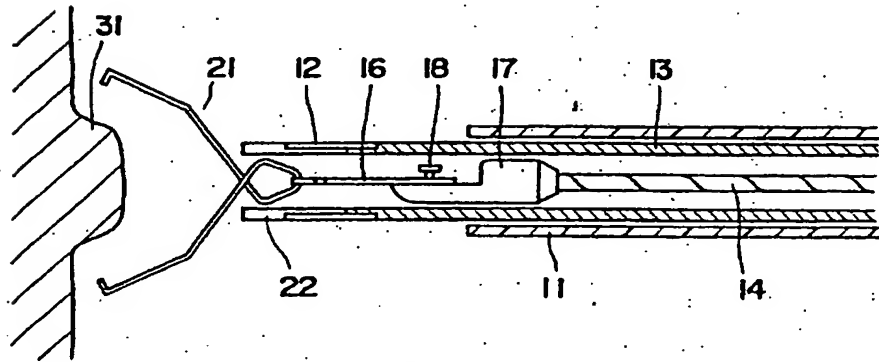
第 1 図



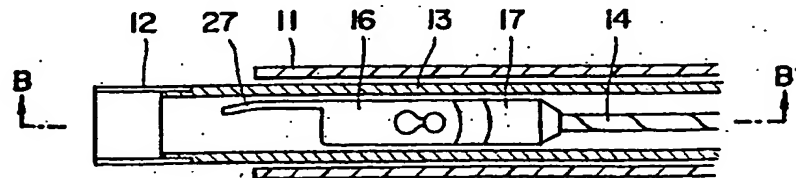
第 2 図



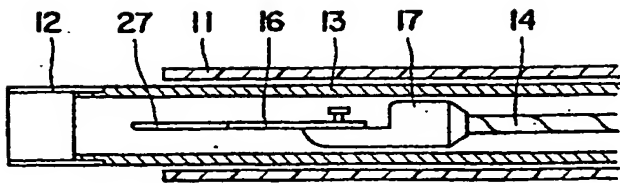
第 3 図



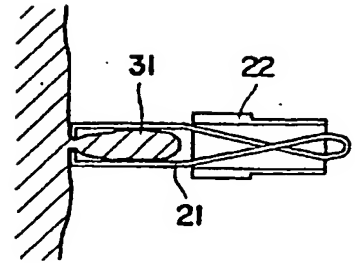
第 4 図



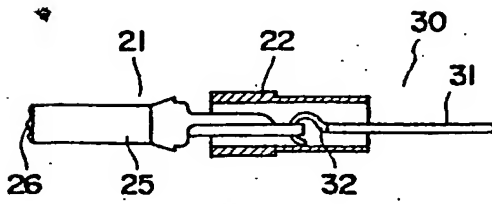
第 5 図



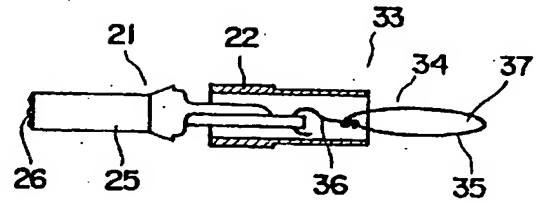
第 6 図



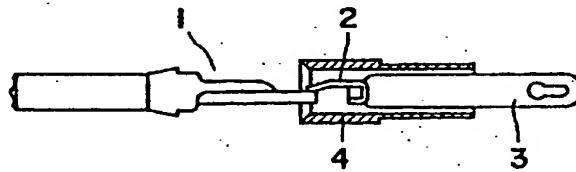
第 7 図



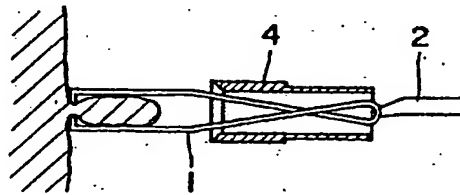
第 8 図



第 9 図



第 10 図



第 11 図